

【別紙2】東京の観光公式サイト「GO TOKYO」- サイト機能要件一覧

※各機能のサービス利用料、実装、維持から保守に至るまでの費用を全て委託費用に含めること
 ※外部サービス等の利用及び連携時は、当該連携先とのやりとりを含め、直接対応すること

| No. | 項目 | 内容 | 補足 |
|------------------------|---|---|--|
| 1 | 地図機能(経路案内) | <ul style="list-style-type: none"> ・エリアページに、地図上でエリア範囲を指定して、該当エリアの情報を引き出すなど、地図を活用できる機能を設置すること。 (ページ例) /en/destinations/central-tokyo/ginza/index.htmlのページ最下部に掲載 ・末端ページに、紹介施設の位置を把握できる地図領域またはリンクを設置すること。また地図と連携して、ユーザーが設定した目的までの経路案内を行うこと。 (ページ例) /en/spot/86/index.htmlの「See On Map」及び「Transit Info」 ・Walks & Toursページに、モデルルートの動線が分かる地図を設置すること。 (ページ例) /en/story/walks-and-tours/ginza/index.html ・GO TOKYOサイトと連携するデジタルサイネージ掲載用に、各観光スポットの位置(緯度・経度)を表示する機能を設置すること。マーカーの設置箇所は、最大尺度まで拡大して正しい位置に表示していることを確認すること。 | 現在、Google Maps APIを使用。同APIをはじめとする有料のサービスを利用する場合、支払いの管理も適切に行うこと。 |
| 検索機能 | | | |
| 2 | ページ情報検索 | <ul style="list-style-type: none"> 以下を含め、ユーザーが検索しやすい条件を設定し、サイト内のコンテンツを横断的に検索できる機能を設置・維持すること。 ・イベント末端: 開催日、エリア、カテゴリなどによる絞り込み。「Tokyo Event Calendar」「What's on Guide」に月・週・日にち単位等で検索・結果表示が可能にすること。 ・スポット末端: エリア、カテゴリなどによる絞り込み。 ・テキスト入力による検索及び音声入力による検索を可能とすること。音声入力の検索結果は、「読み上げ機能」の活用等により、読み上げ可能とすること。 | 現在、音声入力はユーザーのブラウザに搭載の機能にて対応 |
| 3 | 現在地付近の情報検索 | <ul style="list-style-type: none"> モバイル端末でGPS機能またはユーザーの入力による現在地付近の観光情報を表示できる機能を設置すること。 (PCブラウザ上で現在地を入力するなどにより設置が可能であれば、同様に設置すること) ユーザーが検索した情報を活用しやすい機能を設計すること。 | 現在、スマートフォン版の検索ページ「Nearby」として使用 |
| 4 | Time Trip Tokyo 閲覧・検索 ※日・英 | <ul style="list-style-type: none"> 1950年代から現在までの写真約620点を、年代・キーワード等の条件設定により、検索・閲覧しやすい機能を設置すること。 /gallery/en | |
| 5 | 東京舟めぐり コース検索 | <ul style="list-style-type: none"> キーワード、コース・種類、発着地、所要時間、料金など、現行サイトと同等の検索機能で、舟運コースを検索・閲覧できるようにすること。 /search/en/course | |
| 外部API等との連携 | | | |
| 6 | 口コミ表示 | <ul style="list-style-type: none"> 宿泊・観光スポット末端ページに、一般利用者による口コミ情報を表示すること。効果的に活用できる工夫をすること。 (ページ例) /spot/86/index.html | 現在、TripAdvisor ウィジェットを使用 引き続き同様のサービスを使用する場合は同サービスの運用事業者と連携の上、費用の管理(2023年1月末時点 615施設: 2,440,000円)、サイトの変更・更新に伴う対応(CSSのアップデートがあった場合など)等の管理全般を行うこと。 |
| 7 | 宿泊予約API等 | <ul style="list-style-type: none"> 以下、英・中(簡体・繁体)・韓 対応の機能とすること。 ・サイトに掲載されていない施設も含む、都内の宿泊施設の検索枠の導入など、ユーザーの宿泊施設検索・予約をスムーズにサポートできる機能を設置すること。 /see-and-do/accommodations/index.html ・サイトに掲載の末端ページ(詳細ページ)から予約ページへの誘導を行うこと。 (ページ例) /spot/302/index.html | 現在、Trip Adviser ウィジェットを使用(無償) |
| 8 | エンターテインメント予約サイト連携 | <ul style="list-style-type: none"> 東京で楽しめる体験・アクティビティなどをサイト内で効果的に発信し、ユーザーの行動につなげるため、以下サイトとAPI等で連携し、サイト内容を効果的に表示できるようにすること。 英・中(簡体・繁体)・韓 対応の機能とすること。 (連携先サイト) https://experiences.travel.rakuten.com/pages/tokyo-guide/ (連携ページ例) /en/spot/30/index.html | 現在、CSVにて連携 |
| 9 | 天気予報連携 | <ul style="list-style-type: none"> 東京の現在の気温(摂氏/華氏の併記)、天候等を表示することで、ユーザーが東京の気候情報を把握できる機能を設置すること。 | 現在、気象庁APIを使用(無償) |
| 申込みシステム | | | |
| 10 | 写真素材集 ※日・英 | <ul style="list-style-type: none"> 東京の観光PRを目的とした写真の貸し出し希望に対して、無料で写真データを提供するシステムを設置すること。 ・貸し出し申込みに対して、財団が承認手続きを行えるようにすること(自動承認も含む)。 ・承認された申込み者に対して、画像データのダウンロードURLを送信できるようにすること。 ・管理機能を用意し、画像情報の登録・変更・削除が行えること。 ・申込情報の管理(一覧表示、詳細情報と申込み画像の確認)が行えること。 ・データの暗号化など、個人情報の取扱いについて十分なセキュリティを実現すること。取得された個人情報は財団の規定に則り、適切に管理・処理されるようにすること。 https://www.gotokyo.org/photo/ | |
| 財団担当者及び外部関係者によるCMS入力機能 | | | |
| 11 | 緊急時のお知らせ | <ul style="list-style-type: none"> ・各言語のHOME画面上部に、財団の担当者が入力したテキスト、リンク等が表示されるようにすること。 ・ID・パスワードの割り当て件数は既存で3件程度。 | |
| 12 | まちナビ ※日・英 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント末端ページと同等の編集管理機能(CMS)を構築し、東京都内の区市町村及び観光協会の担当者等がイベント情報を入力・更新できるようにすること。 ・ID・パスワードの割り当て件数は既存で60~100件程度。 ・当該イベントの表示は財団から配信するイベント末端とは区分して表示され、月ごとに一覧表示すること。 https://www.gotokyo.org/ja/travel-directory/result/index/template/222 | |
| 13 | 全国観光PRコーナーイベント情報及び東京観光情報センターPRコーナーイベント情報 ※日本語 | <ul style="list-style-type: none"> ・同コーナーの実務担当者がテキスト、画像、リンク等を入力・更新できるようにすること。 ・ID・パスワードの割り当て件数は既存でコーナー別にご各1件程度。 https://www.gotokyo.org/jp/tourists/info/center/country_pr.html https://www.gotokyo.org/jp/tourists/info/center/tokyo_pr2.html | |
| その他機能 | | | |
| 14 | ランキング等人気コンテンツ表示機能 | <ul style="list-style-type: none"> イベントや観光スポット情報などサイト内の人気コンテンツについて、アクセス数によるランキングを表示する等、ユーザーが効率よく把握できる機能を設置すること。 ※TOPページ「Popula with GO TOKYO Viewers」…上位のサイト内検索語を表示 ※/destinations/central-tokyo/index.html、/destinations/northern-tokyo/index.html、/destinations/eastern-tokyo/index.html、/destinations/western-tokyo/index.html、/destinations/southern-tokyo/index.html、/destinations/izu-and-ogasawara-islands/index.html、/destinations/outlying-area/index.html、/destinations/waterfront/index.htmlの「Most Popular Topics」及びグローバルナビゲーション Things to Doのスポット紹介枠…Google Analytics連携 | |
| 15 | Saved Favorites | <ul style="list-style-type: none"> コンテンツの「お気に入り保存」機能を設置すること。 お気に入り登録情報の地図表示や、複数デバイス間での共有など、実用的な機能とすること。 | |
| 16 | シェアボタンの設置 | <ul style="list-style-type: none"> SNSやメールでのサイトコンテンツの共有・拡散をサポートする機能を搭載すること。 | |
| 17 | アクセス分析 Google Analytics Google Search Console | <ul style="list-style-type: none"> Google Analytics及びGoogle Search Consoleを使用して、ログ集計及びアクセス解析を可能にすること。 ログ集計は仕様書に記載のとおり、報告のできるようにすること。 また、財団からの別途指定するデータを収集するために必要な設定、対応を行うこと。 | |
| 18 | 動画埋め込み | <ul style="list-style-type: none"> サイトHOMEキービジュアルとして動画の埋め込みをすること。再生・一時停止の機能を設けること。 | 現在、Youtubeを使用。簡体字版を除く |
| 19 | アクセシビリティ向上: 読み上げ機能 ※日・英 | <ul style="list-style-type: none"> アクセシビリティ向上を目的として、サイト内テキストを読み上げる機能を搭載すること。 掲載内容を正しく読み上げるように、読み上げ内容の確認と必要な修正を全ページについて行うこと。 | 現在、リードスピーカーを使用 |
| 20 | アクセシビリティ向上: その他の機能 | <ul style="list-style-type: none"> 視覚・動作・認識等、多様なニーズに効率的かつ効果的に対応するウェブアクセシビリティ機能を搭載すること。 | 現在、「FACILiti」を使用。引き続き使用する場合は同サービスの運用事業者と連携の上、費用の管理(75,000円/月)、サイトの変更・更新に伴う対応(CSSのアップデートがあった場合など)等の管理全般を行うこと |
| 21 | 災害時情報発信機能 | <ul style="list-style-type: none"> 東京都内で震度6弱以上の地震が発生した際に、サイトTOPページの緊急時「お知らせ」枠にて、財団が指定するURLやアプリのリンクを自動的に露出させること。固定テキストに加え、自由記入テキストの入力欄を設けること。 実装後は、年に2回以上、問題なく機能するかを確認し、財団へ報告すること。 | 現在、気象庁発信のXML情報と連携(無償) |
| 22 | プッシュ通知 | <ul style="list-style-type: none"> イベントや季節等に関する即時性の高い情報をPCブラウザ、モバイル画面上でプッシュ通知し、タイムリーに発信すること。 | 現在、PUSH ONEを使用 |
| 23 | ヒートマップツール | <ul style="list-style-type: none"> サイト改善の参考にするため、ヒートマップサービスを導入・管理すること。 | 現在、ミエルカヒートマップを使用 |